

ひびくする環境問題、生活者の側からどう捉え、どう考え、どう実行に移すかが問われています。会員を募集しています。問い合わせ、申し込みは左記総務会まで。

# 環境と共生

第3号 平成12年10月1日発行 発行：環境21世紀の会 編集：総務会 有村親雄 住所：〒277-0042 柏市遊井40-89 TEL: 0471-74-2135 FAX: 0471-75-7360

## 環境21世紀の会の事業

各種調査研究、政策の提言、行政への請願・各種申し入れ、広報活動及び講演会の実施、共通する他団体との協調・連携——を事業とし、環境との共生を考え、活動しているボランティア団体です。

## 補助金交付は厳しく査定

### 柏市のごみ処理計画に異論 厚生省と千葉県に質す

環境21世紀の会

環境21世紀の会は現在ごみ減量について積極的提言をしていますが、とくに柏市のごみ処理計画に疑問を持ち、調査分析を行い、過大なごみ増量予測による焼却施設の建設に対し、減量施策を主張して参りました。環境に与える影響はもとより、国と地方の借金を合わせるに五百兆円を突破し、国民一人当たり約四百万円にもなる貴重な税金を使うという面からも、巨費がかかる施設に疑問が残ります。こうした面も含め厚生省、千葉県を訪ね意見を求めました。

平成十二年五月九日 局水道環境部環境整備課 (火)に厚生省生活衛生 を訪ね柏市のごみ問題について会談しました。その中で、一人一日当たりごみ排出量実績及び目標の比較表を見て、柏市のごみ処理基本計画(平成十二年四月改定)は、国の施策、千葉県の方針と異なり、ごみ量が増量計画でありおかしという見解でした。補助金申請の審査については、ごみ排出抑制やごみ減量効果などの観点で、適正規模及び適正設備内容を審査するとう回答でした。また、千葉県を通じて適

## バザー

開催日 10月29日(日)  
場所 柏楽園ふるさと会館  
時間 10:00~15:00

御家庭に眠っている不用品ありませんか?  
バザー品受付日 10月27日(金) 10:00~12:00  
10月28日(土) 15:00~17:00  
柏楽園ふるさと会館で受け付けます。

主催 環境21世紀の会 <連絡先> 工藤 (72) 8753

環境21世紀の会は柏高島屋ステーションモールが、テナントから出る生ごみのリサイクルを始め、他の有機物などと混ぜて約2ヵ月置いて肥料にし

間生成物に変わる生ごみ処理機を導入。生成物に群馬県の肥料工場、110L、200Lのポリエチレン製の車付き回収容器に入れ、生ごみを取り除き分別してか

テナントの生ごみを肥料に 柏高島屋モールがリサイクル 減らすこと

環境負荷の低減へ強化 循環型社会基本法等が法制化

わが家のごみ減量大作戦 成果、やらないときの半分に慣れると苦にならず

事務局長を強化 新役員決まる

環境21世紀の会は、ごみ処理基本計画(平成十二年四月改定)は、国の施策、千葉県の方針と異なり、ごみ量が増量計画でありおかしという見解でした。補助金申請の審査については、ごみ排出抑制やごみ減量効果などの観点で、適正規模及び適正設備内容を審査するとう回答でした。また、千葉県を通じて適

私には経済の仕組みが複雑でさっぱり分かりませんが、ただ、大量生産・大量消費の時代は終わったような気がします。パブル経済が崩壊し依然として消費が回復してない中で、排出されるごみ問題は近年とくに深刻になりつつありますが、私たち生活者の段階におきまして

わが家のごみ減量大作戦 成果、やらないときの半分に慣れると苦にならず

事務局長を強化 新役員決まる 環境21世紀の会は、発足以来初の総会及び臨時総会を五月に開催し、新役員を選出及び、事務局の強化を図り規約改正を行いました。

平成十二年五月十八日(木)に千葉県環境生活部一般廃棄物課を訪ね、柏市のごみ処理計画等について意見を交わしました。柏市のごみ処理基本計画(平成十二年四月改定)は、千葉県「ちば21ごみゼロプラン」(平成十二年三月)の方針と異なり、ごみ量が増量計画でありおかしという発言がありました。県内の各市町村の実態を踏まえ、全ての各市町村に対し、ごみ処理計画の策定を指導していきたいとのことでした。「市町村が国の国庫補助金申請にあたって、

私の家族は、会社勤めの夫と大学生の息子と三人です。三月に開かれた環境21世紀の会主催の「ごみ減量シンポジウム」に参加して、わが家の減量大作戦を報告しました。まず、スーパーなどの買い物では、ごみになるものを家に持ち帰らない。雑誌、チラシ、新聞などはもちろん資源品へ。

わが家のごみ減量大作戦 成果、やらないときの半分に慣れると苦にならず

事務局長を強化 新役員決まる 環境21世紀の会は、発足以来初の総会及び臨時総会を五月に開催し、新役員を選出及び、事務局の強化を図り規約改正を行いました。

別項1. 千葉県のごみ減量化施策

- ①多量排出事業者による減量化計画の策定指導
- ②大規模販売店・飲食店等の厨芥類のコンポスト化
- ③オフィス町内会による紙資源回収、減量化・資源化体制の整備
- ④新聞店回収等事業者回収の推進
- ⑤直ちに取る施策：市町村の一般廃棄物処理計画の策定

別項2. 柏市の一般廃棄物処理計画とごみ減量化施策

- (1)予測値：平成7～11年度の5カ年の実績増から直線式を採用（7年度の低い異常値を採用）
- (2)排出抑制策：平成22年度までに2%排出抑制
- (3)新たな減量化施策
  - ①事業系プラスチックの分別・再資源化の実施
  - ②家電リサイクル法の実施
  - ③剪定枝チップ化の実施（ごみ総量の精々0.5%）

ちば21 ごみゼロプランが発表される

千葉県は平成12年3月に、21世紀へ向けて県民、事業者、行政の関係者がものの製造、流通、消費、回収、再利用の各団体において「資源循環型社会」の構築を目指し、共同・協調し一体となって取り組む具体的な指針として、第2次基本方針を策定した。

この基本方針では、ごみの排出量削減、焼却処理量削減、再資源化率の向上について数値目標を掲げ、それぞれの関係者が取り組む具体的な行動内容が明らかにしている。

平成22年度の減量化・再資源化の目標は、ダイオキシン対策閣僚会議（平成11年9月28日）で設定された国の廃棄物減量化目標を踏まえ設定されたものである。具体的な排出抑制目標としては、平成22年度におけるごみ排出量を1人1日当たり現状（平成10年度）より17%削減し850gとするものである。焼却処理量を1人1日当たり26%削減し640gとする。再資源化目標については、集団回収を加えたりサイクル率を現状の20%を35%に向上させるものである。

ちば21 ごみゼロプランと

柏市のごみ処理基本計画の比較

千葉県のごみ減量化施策は別項1に示した通りである。千葉県は、焼却ごみの大半を占める紙ごみ及び厨芥類の減量化の施策を打ち出している。具体的な数値目標として、平成22年度におけるごみ排出量を1人1日当たり現状（平成10年度）より17%削減し850gとするものである。焼却処理量を1人1日当たり26%削減し、640gとする。焼却処理量640gの設定理由は、容器包装廃棄物等の分別収集や厨芥類、紙類の資源化の促進を勘案して決めたとしている。しかも県内の80市町村中の40%以上に当たる34市町村で焼却処理量が640g/人/日以下である。

直ちに取る施策として、県内全ての市町村は一般廃棄物処理計画策定に際し、県の基本方針を踏まえごみの排出抑制及び減量化・再資源化対策等に関する数値目標や施策など具体的事項を定め、この計画に基づきごみ処理事業を推進するとしている。

本多市長は昨年12月の市議会で、「ごみ処理基本計画（平成9年3月改定）を見直しせず」と言明したが、人口予測及び1人1日当たりのごみ排出量の原単価に客観性がなく、見直しせざるを得なくなった。急遽、審議会委員の人選をして第1回の清掃審議会（平成12年2月2日）に「ごみ処理基本計画見直し案」を諮問したが、柏市の広報に告知したのは審議会開催の前日であった。最終的には4月28日の審議会の一部の修正はあったが、ほぼ原案通りに決定した。

柏市の計画は、国のごみの減量施策並びに、ちば21 ごみゼロプランが生かされていない。別項1と別項2を比較してみると、柏市は、千葉県の減量化計画を無視したものである。

柏市の1人当たり1日当たりのごみ排出量は客観性がない。平成7年度の低い実績を使用して、過去の5年の実績が増加するようにデータ処理されている。ごみ量の予測として直線式を使って延長したに過ぎない。しかも、従って、右肩上がりのごみ処理計画である（表1参照）。この計画数字は東京23区の平成10年の実績数字と同じである。しかも、名古屋市、仙台市のごみ予測値と比較しても柏市の予測値は絶対値ではるかに超えるものである。

柏市の平成30年度の人口予測は精々37万人であり、清掃工場設備規模を500t（第2清掃工場の設備規模は250t）としている。また、平成22年度でも現清掃工場の計画処理能力の焼却対象ごみ量は約78t上回るだけであり、第2清掃工場設備規模250tは過大である。これらの計画数字から分かるように、柏市のごみ処理計画は杜撰なものである。

補助金の交付には適正化の審査あり

「廃棄物処理施設整備費国庫補助金交付要綱の取扱いについて」の規定がある。この規定は、衛環第33号の平成10年4月3日：厚生省生活衛生局、水道環境部環境整備課長から各都道府県の一般廃棄物処理主管部（局）長宛の文書になっている。この規定の2項によると、国庫補助採択における適正なごみ焼却施設の整備規模としては国庫補助金の適正な執行のためには、施設整備規模をごみ処理量に対して適正なものとする必要があると書かれている。次に2項の①によると、計画目標年次におけるごみの発生量及び処理量は、将来人口並びに排出抑制及び集団回収等によるごみ減量効果等を、的確に見込んで予測することと書かれている。

編集後記

★ちば21 ごみゼロプランを紹介した。21世紀に向けて県民、事業者、行政の各関係者が「資源循環型社会」の構築を目指し、ごみの排出抑制、再資源化の向上に積極的に行動していく必要がある。  
★柏市のごみ処理基本計画の改定経過・内容並びに厚生省及び千葉県の見解について触れた。柏市のごみ処理計画は、国及び千葉県のそれと比較して問題があることを国、千葉県も言っている。柏市の組織内部にはごみ処理計画の妥当性について指摘をする人は誰もいないのであろうか。  
★先の通常国会で「循環型社会基本法」等が法制化された。行政、事業者、国民が三位一体となって努力すれば、21世紀初頭にはリサイクル社会が構築されているであろう。（T. K）